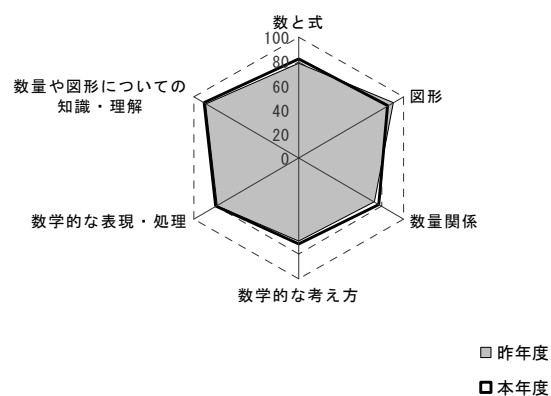


2年 数学

宇都宮市立瑞穂野中学校

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と18年度の状況）

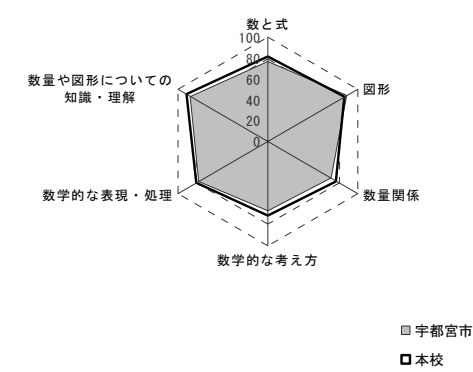


■平均正答率

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	数と式	81.3	78.3
	図形	85.2	90.8
	数量関係	75.4	71.9
観点別			
	数学的な考え方	70.8	68.4
	数学的な表現・処理	79.5	78.5
	数量や図形についての知識・理解	89.8	89.6

受検人数	本年度	昨年度
	54 人	83 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



■ 平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	数と式	77.0	81.3
	図形	86.9	85.2
	数量関係	69.5	75.4
観点別			
	数学的な考え方	66.2	70.8
	数学的な表現・処理	76.8	79.5
	数量や図形についての知識・理解	85.8	89.8

受検人数	宇都宮市	本校
	3983 人	54 人

昨年度に比べ領域別で数と式・数量関係の平均正答率が上がっている。また、図形も目安の 8 割に達しているため、数量関係の平均正答率 8 割達成が課題となる。観点別に見ても全体的に見ても市の平均正答率を上回っているので、数学的な考え方の平均正答率 8 割達成が課題となる。

2 指導の工夫・改善

領 域	平成19年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は昨年より上昇し、80%を上回る結果となった。特に、式の計算や連立方程式の問題で80%を超える結果となったが、等式の変形や連立方程式の利用に関する問題はわずかに80%を下回る結果となった。	反復練習を行いながら、計算力の向上をさらに図るとともに、文章から2つの未知数を文字に置き換え、連立方程式を利用して解く演習に重点をおく必要がある。
図形	平均正答率は昨年を下回ったが、80%を大きく上回る結果となった。平行線や多角形の角に関する問題では高い正答率が得られているが、三角形の合同に関する問題は昨年よりも正答率が下回る結果となった。	2つの三角形で、等しい辺や等しい角を根拠とともに示すことができるよう基本的な問題で反復練習するとともに、三角形の合同条件を用いて論証を記述する練習に重点をおく必要がある。
数量関係	平均正答率は昨年を上回ったが、80%には達していない結果となった。一次関数のグラフの問題では80%を超える平均正答率となったが、一次関数の利用の問題では昨年とほぼ同様の62%という低い平均正答率となった。	1年生の「比例・反比例」の領域と同様、具体的な事象の中の数量関係を読み取る問題演習に重点をおき、一次関数を利用して問題解決できる力を伸ばしていく必要がある。